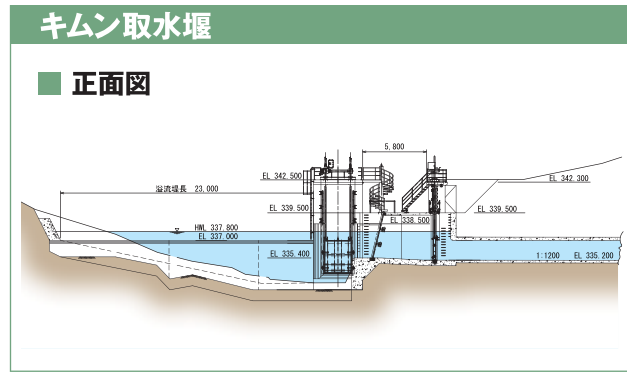
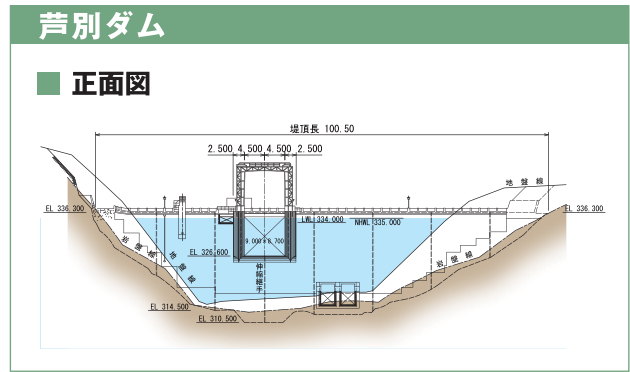
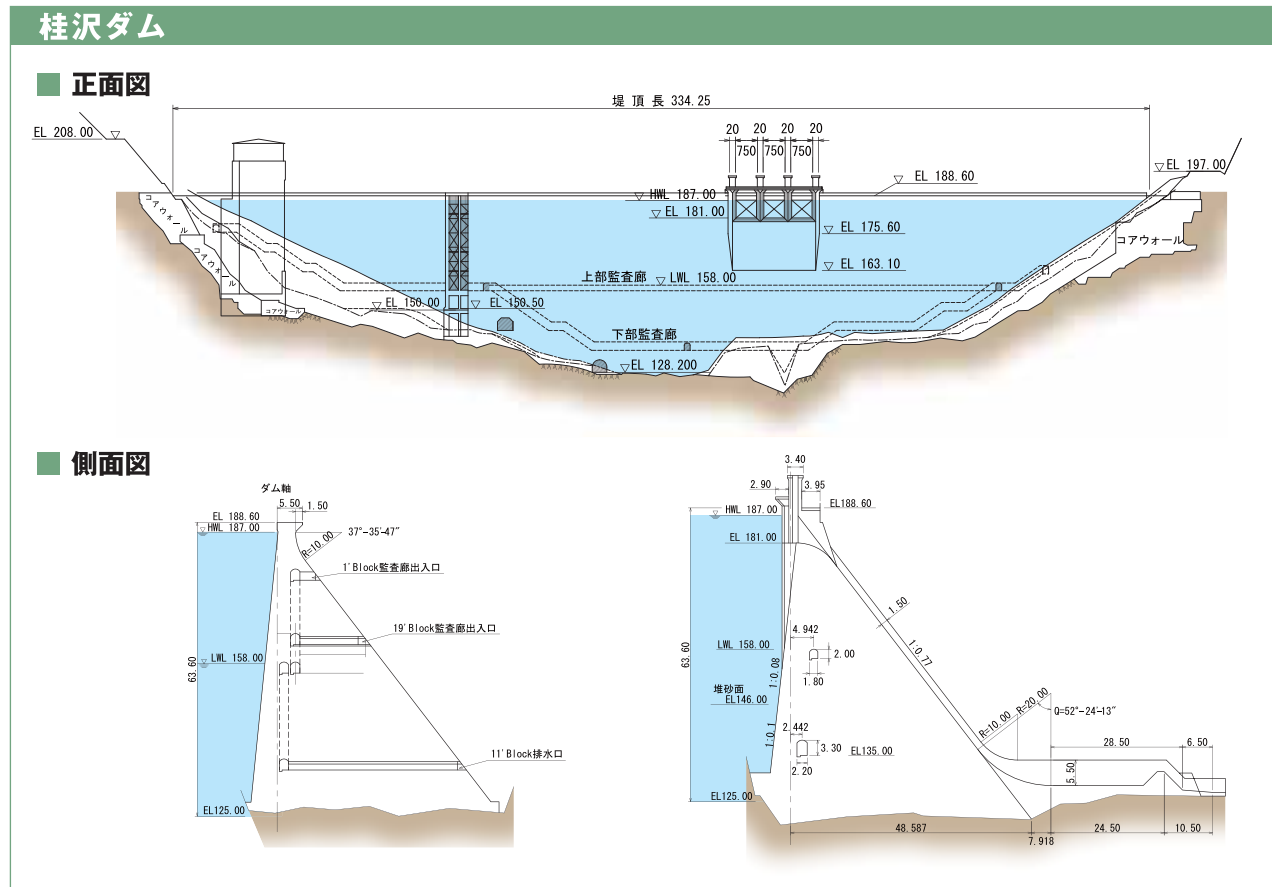


桂沢ダム



諸元

項目	桂沢ダム	芦別ダム	キムン取水堰
ダム名	桂沢ダム	芦別ダム	キムン取水堰
河川名	幾春別川	芦別川	キムン芦別川
流域面積	151.2km ²	126.0km ²	21.5km ²
湛水面積	4,990,000m ²	209,427m ²	—
総貯水量	92,700,000m ³	1,598,759m ³	—
有効貯水量	81,800,000m ³	206,259m ³	—
満水位標高	187.0m	335.0m	337.0m
利用水深	29.0m	1.0m	—
型式	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	溢流型 コンクリート堰
高さ	63.6m	22.8m	4.5m
堤頂長	334.25m	100.5m	23.0m
堤体積	350,000m ³	17,500m ³	494m ³
門扉	ローラーゲート	ローラーゲート	スルースゲート (排砂門)

水利使用 (取水量等)

用途	期間	取水量
農業	5月8日～8月20日	—
	確保水量	藤松沢水位観測所地点 10.000～17.593m ³ /s
上水道	計画給水人口20万	0.998m ³ /s

発電使用

項目	桂沢発電所	熊追発電所
最大使用水量	23.5m ³ /s	4.0m ³ /s
最大出力	15,000kw	4,900kw



桂沢ダムは流域の豊かな暮らしと安全な毎日を見守っています。

[桂沢ダムの概要]

Outline of Katsurazawa-Dam

3つの施設が連携し、流域の暮らしを支えています。

桂沢ダムは北海道三笠市、幾春別川の支流に位置しています。昭和32年に完成し、北海道初の本格的な多目的ダムとして多くの注目を集めました。桂沢ダムは、かつて幾度となく氾濫を繰り返してきた幾春別川の洪水調節を行い、さらに芦別ダム、キムン取水堰から導水して効率的な水の活用を行い、水道用水や農業用水の確保、水力発電によるクリーンなエネルギー供給という役割も担っています。



[桂沢ダムの役割]

Role of Katsurazawa-Dam

【洪水を防ぐ】

明治時代から幾度となく氾濫を繰り返した幾春別川。桂沢ダムでは、このような状況が起こらないよう、上流から流れてくる洪水の一部をダムに貯めることで下流域での氾濫を防いでいます。



【水道用水を確保する】

桂沢ダムでは一年を通して水道用の水を貯えています。ダムには最大で7,700,000m³の水を貯めることができ、水道用水は水道企業団を通じて岩見沢市、三笠市、美幌市の各家庭へと届けられます。



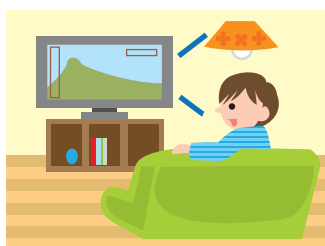
【農業用水を確保する】

下流域に広がる広大な農地をうるおすために、桂沢ダムではかんがい用水を供給しています。流域には16,280ヘクタールの農地が広がり、基幹産業として人々の暮らしを支えています。



【発電する】

電源開発(株)桂沢発電所では水の力を利用した水力発電を行っています。上流に位置する熊追発電所と共に発電を行い、年間の発電量は36,000世帯分に相当する8,700kwにのぼります。



[桂沢ダムの歴史]

History of Katsurazawa-Dam

■ 桂沢ダムの歩み

昭和25年3月	幾春別川、芦別川総合開発計画が決定
昭和26年4月	幾春別川総合開発事業 石狩川治水事務所担当で着工
昭和27年12月	水没立退者移転補償協議成立(第一次94戸)
昭和28年5月	上桂沢集落解散式
昭和28年7月	桂沢堰堤建設本体工事開始
昭和29年3月	幾春別川総合開発計画変更承認 (芦別高堰堤を取水堰堤に改める)
昭和29年11月	計画変更に基づく水没立退者移転補償 協議成立(第二次43戸)
昭和31年8月	桂沢貯水池周辺立退者移転補償 協議成立(第三次33戸)
昭和32年3月	桂沢ダム完成、貯水開始
昭和32年6月	桂沢ダム管理所開設



上桂沢集落移転

上桂沢集落の人々はダムの建設に伴い、50年間住み慣れた地を離れました。移転は昭和28年から始まり、昭和30年に終わりました。



桂沢ダム供用開始

完成した桂沢ダムは、昭和32年から供用が開始されました。洪水防止、水力発電などを目的とした「北海道で初めての多目的ダム」として注目を集めました。



そして、新桂沢ダム

桂沢ダムが完成した後、度々洪水が発生しました。発展する流域のまちに対応するために、より高い機能を持つダムが求められ、桂沢ダムは新しく生まれ変わろうとしています。

KATSURAZAWA DAM INFORMATION

桂沢ダム管理支所からのお知らせ

「ピンポンパンポン♪」は放流が始まる合図です。

ダムからの放流が始まると、川の水位が急激に上がるため、河原は大変危険な状態になります。放流が行われる時は、サイレンによる警報とアナウンスが流れるので、放送が聞こえたらすぐに川から離れるようにしてください。

リアルタイムの雨量、河川情報を公開しています。

国土交通省ではリアルタイムの雨量、河川情報をインターネットで公開しています。パソコンや携帯電話からいつでも調べることができるので、行楽やレジャーにもぜひご利用下さい。

パソコン <http://www.river.go.jp/>

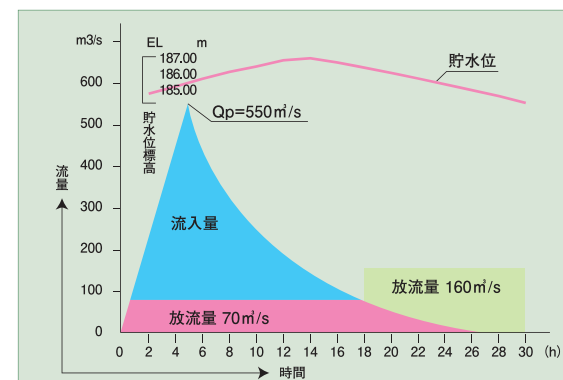
携帯電話 <http://i.river.go.jp/>

QRコードからもアクセスできます



元町警備局

洪水調節図



貯水容量配分図

